

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和2年6月30日

宮崎県知事 河野 俊嗣 殿



提出者

住所

氏名

宮崎県日南市大字戸高1850番地

王子製紙株式会社日南工場

執行役員 日南工場長

中内 一裕

電話番号 0987-23-2181

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	王子製紙株式会社 日南工場
事業場の所在地	宮崎県日南市大字戸高1850番地
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	パルプ・紙・紙加工品製造業
②事業の規模	製品出荷額(2019年度実績) : 28,300百万円
③従業員数	268名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

電子

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】                      別表1の通り	
	産業廃棄物の種類	
	排      出      量	t                      t
	(これまでに実施した取組) 別紙2のとおり	
②計画	【目標】                      別表2の通り	
	産業廃棄物の種類	
	排      出      量	t                      t
	(今後実施する予定の取組) 別紙2のとおり	

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙2のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙2のとおり

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		別表1の通り
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙2のとおり		
②計画	【目標】		別表2の通り
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙2のとおり		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		別表1の通り
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 別紙2のとおり			
②計画	【目標】		別表2の通り
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 別紙2のとおり			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		別表1の通り
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙2のとおり		
②計画	【目標】		別表2の通り
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙2のとおり		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		別表1の通り
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙2のとおり		

②計画	<b>【目標】</b>	別表2の通り	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  別紙2のとおり		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



別表1 令和1年度実績

廃棄物の種類	排出量 (t/年)	自ら再生利用を 行った産業廃棄物 の量 (t/年)	自ら熱回収を行っ た産業廃棄物の 量 (t/年)	自ら中間処理によ り減量した産業廃 棄物の量 (t/年)	自ら埋立処分又は 海洋投人処分を 行った産業廃棄物 の量 (t/年)	直接及び自ら中間 処理した後の処理 委託量 (t/年)	優良認定処理業 者への処理委託 量 (t/年)	再生利用業者へ の処理委託量 (t/年)	認定熱回収業者 への処理委託量 (t/年)	認定熱回収業者 以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 (t/年)
ばいじん	19,162.32	0.00	0.00	0.00	2,353.00	16,809.32	3,419.08	16,809.32	0.00	0.00
燃え殻	3,405.88	0.00	0.00	0.00	892.58	2,513.30	0.00	2,513.30	0.00	0.00
汚泥(有機性)	1,267,448.94	0.00	50,396.05	1,253,847.62	0.00	3,774.09	370.92	3,773.05	0.00	0.00
汚泥(無機性)	994.20	0.00	0.00	0.00	534.18	460.02	0.00	460.02	0.00	0.00
がれき類	28.53	0.00	0.00	0.00	0.00	28.53	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	1,537.53	0.00	1,407.50	1,384.98	0.00	130.03	0.00	130.03	0.00	0.00
紙くず	35.84	0.00	35.84	34.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	859.12	0.00	703.82	681.30	0.00	155.50	0.00	155.50	0.00	0.00
廃油	5.33	0.00	0.00	0.00	0.00	5.33	0.00	5.33	0.00	0.00
廃酸	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	0.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.23	0.00	0.23	0.00	0.00
金属くずと汚泥の 混合物	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.02	0.00	0.00
ガラスくずと金属くずの 混合物(水銀使用製品産 業廃棄物)	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.14	0.14	0.00	0.00
ガラスくずと金属くずの混 合物(石綿含有産業廃棄 物)	0.44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.44	0.00	0.00	0.00	0.00



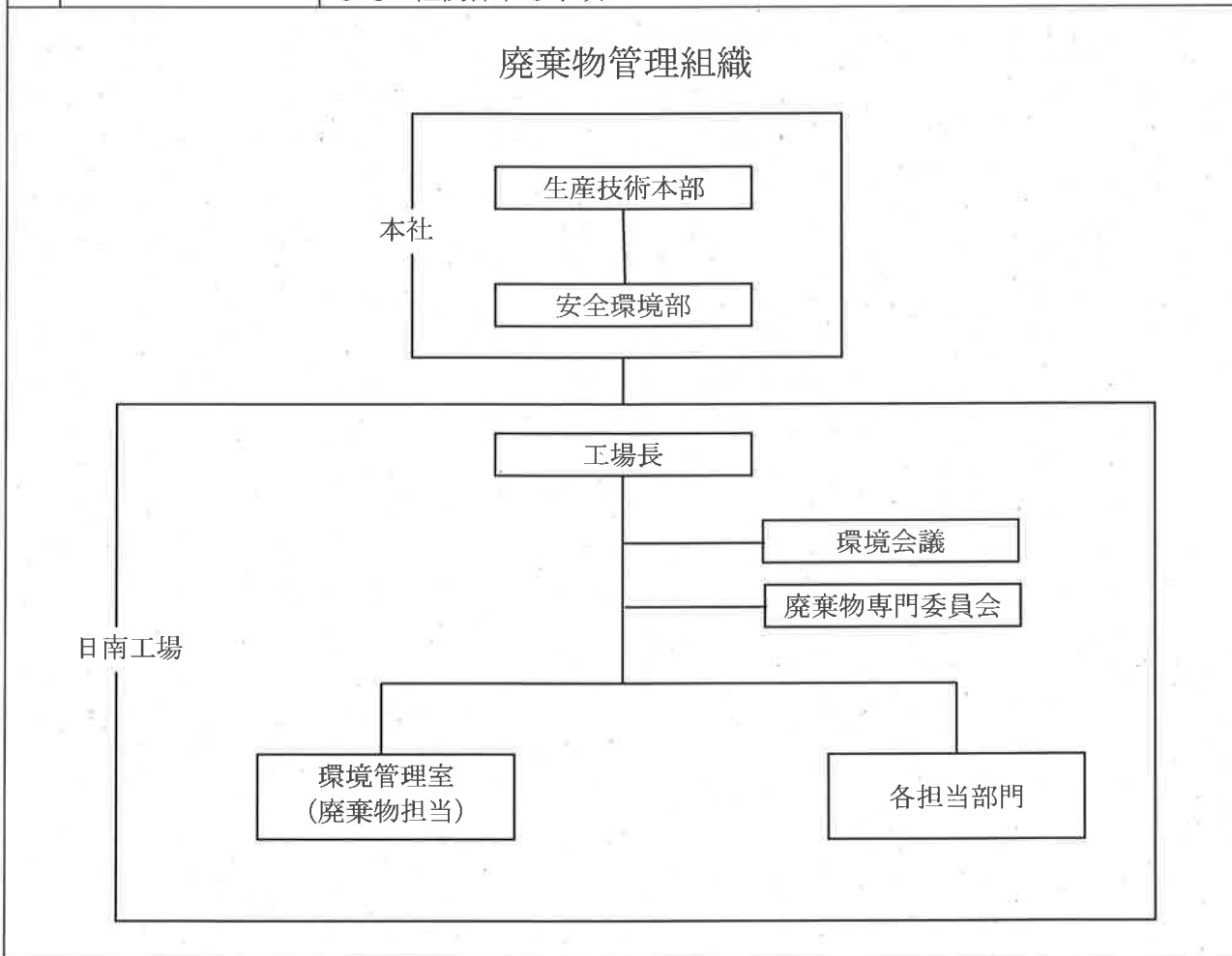
別表2 令和2年度目標

廃棄物の種類	排出量 (t/年)	単位:トン									
		自ら再生利用を行 う産業廃棄物の量 (t/年)	自ら熱回収を行 う産業廃棄物の量 (t/年)	自ら中間処理によ り減量する産業廃 棄物の量 (t/年)	自ら埋立処分又は 海洋投人処分を行 う産業廃棄物の量 (t/年)	直接及び自ら中間 処理した後の処理 委託量 (t/年)	優良認定処理業 者への処理委託 量 (t/年)	再生利用業者へ の処理委託量 (t/年)	認定熱回収業者 への処理委託量 (t/年)	認定回収業者 回収を行業者への 処理委託量 (t/年)	認定回収業者以外 の熱回収委託量 (t/年)
ばいじん	19,162.32	0.00	0.00	0.00	2,353.00	16,809.32	3,419.08	16,809.32	0.00	0.00	0.00
燃え殻	3,405.88	0.00	0.00	0.00	892.58	2,513.30	0.00	2,513.30	0.00	0.00	0.00
汚泥(有機性)	1,267,448.94	0.00	50,396.05	1,253,847.62	0.00	3,774.09	370.92	3,773.05	0.00	0.00	0.00
汚泥(無機性)	994.20	0.00	0.00	0.00	534.18	460.02	0.00	460.02	0.00	0.00	0.00
がれき類	28.53	0.00	0.00	0.00	0.00	28.53	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	1,537.53	0.00	1,407.50	1,384.98	0.00	130.03	0.00	130.03	0.00	0.00	0.00
紙くず	35.84	0.00	35.84	34.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	859.12	0.00	703.82	681.30	0.00	155.30	0.00	155.30	0.00	0.00	0.00
廃油	5.33	0.00	0.00	0.00	0.00	5.33	0.00	5.33	0.00	0.00	0.00
廃酸	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	0.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.23	0.00	0.23	0.00	0.00	0.00
金属くずと汚泥の 混合物	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00
ガラスくずと金属くずの 混合物(水銀使用製品産 業廃棄物)	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00
ガラスくずと金属くずの混 合物(石綿含有産業廃棄 物)	0.44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

別紙 2

1. 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

統括責任者	所属：日南工場	職・氏名：執行役員日南工場長 中内 一裕
廃棄物担当	組織名：環境管理室	職・氏名：環境管理室長 飯田 剛 組織人員：6人
役割	環境会議	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長—工場長 ・委員—各部室長 ・事務局—環境管理室
	廃棄物専門委員会	○廃棄物処理方針の作成 ○工場の廃棄物管理規程の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認 ○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ・委員長—環境管理室長 ・委員—各部署の管理者 ・事務局—環境管理室
	各担当部門	○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約締結 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○従業員、関連会社に対する教育・啓発 ○その他関係する事項



## 2. 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

＜産業廃棄物の種類及び排出量（前年度実績及び今年度目標）＞  
別表1, 2のとおり

＜これまでに実施した取組及び今後実施する取組＞  
環境マネジメントシステムで取り組んでおり、今年度も継続する。

## 3. 産業廃棄物の分別に関する事項

＜分別、分別予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組＞  
別表1, 2の産業廃棄物について、工程毎に発生したものをそれぞれ分別しており、今年度も継続する。

## 4. 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

工場内での再生利用は行っておらず、今年度も同様である。

## 5. 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

＜自ら熱回収を行った（行う）産業廃棄物の量＞  
別表1, 2のとおり

＜自ら中間処理により減量した（する）産業廃棄物の量＞  
別表1, 2のとおり

＜これまでに実施した取組及び今後実施する予定の取組＞  
脱水施設、焼却施設により産業廃棄物の減量化に取り組んでおり、今年度も継続する。

## 6. 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

＜自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）産業廃棄物の量＞  
別表1, 2のとおり

＜これまでに実施した取組及び今後実施する予定の取組＞  
王子グループで、2020年度までに国内事業場において有効利用率99%以上（最終処分率1%以下）の取組を実施しており、今年度も継続する。

## 7. 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

＜優良認定処理業者への処理委託量＞  
別表1, 2のとおり

＜再生利用業者への処理委託量＞  
別表1, 2のとおり

※熱回収業者及び熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への委託は行っておらず、今年度も予定なし。

＜これまでに実施した取組及び今後実施する予定の取組＞  
産業廃棄物の再資源化（有効利用）を実施しており、今年度も継続。